



淀川

(大阪市域：延長約16キロメートル)

「母なる川」と称される淀川は、京都府八幡市付近で宇治川と木津川、桂川が合流して形成され、大阪平野をゆったりと西に流れ大阪湾に注ぎこみます。

淀川は、大阪市内でも数多くの自然が残っている川で、風景を代表するヨシ原をはじめ、ワンドでは、天然記念物のイタセンバラなどの魚類や水生昆虫の姿を見ることができます。

近代ビル群が建ち並ぶ大阪都心部あたりでは、まちなみのシルエットと淀川のスケールが融合した、美しい風景を見ることができるほか、海へとつながる河口部周辺では、ダイナミックで壮大な風景を身近に感じることができます。



1●淀川空撮（城北ワンド群周辺）



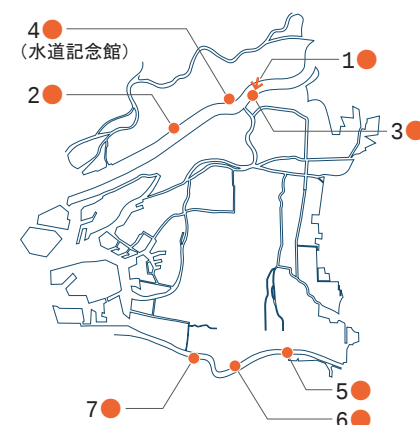
2●淀川と美しいまちなみのシルエット



3●城北ワンド群



4●天然記念物に指定されているイタセンバラ



7●阪堺電軌阪堺線と大和川

都市に残る数多くの自然

川の風景



上：5●緑が美しい大和川の風景
下：6●大和川に生息する水鳥

大和川

(大阪市域：延長約12.3キロメートル)

大和川は笠置山地を源とし、奈良盆地の水を集め、奈良県と大阪府の境にある亀の瀬の溪谷部を経て、石川、西除川等を合わせ、大阪湾に注いでいます。

かつて、大和川は幾筋もの川に分かれて、河内平野を北上していましたが、幾度となく水害に見舞われたため、元禄17年（1704）に付け替え工事が行われ、現在の姿になりました。

大和川は、淀川と同様に数多くの自然を有しており、様々な生物が生息しています。



大和川